

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第1区分

【発行日】平成18年10月12日(2006.10.12)

【公開番号】特開2005-177665(P2005-177665A)

【公開日】平成17年7月7日(2005.7.7)

【年通号数】公開・登録公報2005-026

【出願番号】特願2003-424413(P2003-424413)

【国際特許分類】

*B 01 J 4/00 (2006.01)*

*B 01 F 5/04 (2006.01)*

*C 10 L 3/10 (2006.01)*

【F I】

B 01 J 4/00 1 0 2

B 01 F 5/04

C 10 L 3/00 D

【手続補正書】

【提出日】平成18年8月25日(2006.8.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

原料ガスをベンチュリーミキサ12で空気と混合してサーボタンク14に流入させ、流入した混合ガス圧が、設定圧力以上になるとベンチュリーミキサ12入口部の自動開閉弁15を閉じ、設定圧力以下になると上記自動開閉弁15を開く開閉弁コントローラ16を設けたガス供給装置において、サーボタンク14の混合ガス流入口14aにベンチュリーミキサ12のベンチュリー管12aを固着し、該ベンチュリー管12aの喉部12bにベンチュリーミキサ12の原料ガス噴出ノズル12cを臨ませたことを特徴とするガス供給装置。

【請求項2】

上記ベンチュリーミキサ12内の負圧・正圧に反応して空気弁17を開・閉させるダイヤフラム装置18の中空弁棒17cのバネ室18b側先端に磁石18cを設け、ダイヤフラムケース18aの外側に、上記磁石18cにより作動するリードスイッチ18eを設け、このリードスイッチ18eが閉じている時間を積算する積算時計19を設けたことを特徴とする請求項1に記載のガス供給装置。

【請求項3】

上記積算時計19の積算時間が設定時間に到達すると警報または原料ガス容器11の切り替えバルブ操作信号を発するようにしたことを特徴とする請求項2に記載のガス供給装置。

【請求項4】

上記ガス供給装置10のベースフレームBに原料ガス容器11を固定・取外し可能にしたことを特徴とする請求項1乃至3のいずれかに記載のガス供給装置。

【請求項5】

上記ガス供給装置10のベースフレームBに原料ガス容器11を複数個固定可能にし、上記各原料ガス容器11を集合配管したことを特徴とする請求項1乃至4のいずれかに記載のガス供給装置。

**【請求項 6】**

上記原料ガス容器 1 1 の固定手段は、容器の外周形状に合わせた帯 2 3 に締結手段 2 1 を設けたことを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれかに記載のガス供給装置。

**【請求項 7】**

上記原料ガス容器 1 1 とガス供給装置 1 0 との間に減圧弁を配置したことを特徴とする請求項 1 乃至 6 のいずれかに記載のガス供給装置。